

( 様式9-(10) )

## 診療用放射線照射装置備付届

年 月 日

長崎県知事

様

住 所  
管理者  
(フガナ)  
氏 名

下記のとおり、診療用放射線照射装置を備えるので、医療法第15条第3項、医療法施行規則第24条第1項第3号及び第26条の規定により届ける。

### 記

1 病院または診療所の名称及び所在地			
2 診療用放射線照射装置に関する事項	製作者名		
	型		
	個数	個	
	装備されている放射性同位元素の種類		
	装備されている放射性同位元素の数量	Bq	
3 放射線診療に従事する医師・歯科医師または診療放射線技師の氏名及び経歴	氏名	職種	放射線診療に関する経歴
4 予定使用開始時期		年	月 日

5 放射線障害防止に関する構造設備の概要	放射線源収納容器の空気カーマ率（照射口閉鎖時線源から1mの距離における空気カーマ率）		mG / h				
	二次電子濾過板		有 ・ 無				
	照射口開閉用遠隔操作装置		有 ・ 無				
6 使用室の放射線障害防止に関する構造設備の概要	1週間の延べ使用予定時間		24時間未満 ・ 24時間以上				
	建築物の構造		耐火構造 ・ 不燃材料				
	使用室の防護物の概要	周囲の壁	天井	構造	材料	厚さ	
			東				
				西			
				南			
				北			
		床					
		出入口のとびら					
		監視用装置		有 ・ 無			
	装置を操作する場所		有 ・ 無				
	使用室画壁外側の実効線量		mSv / 週				
	出入口の数		通常出入口 箇所				
放射線発生時の自動表示装置		有 ・ 無					
標識		有 ・ 無					
7 治療病室の放射線障害防止に関する構造設備の概要	治療病室の場所		階 病室				
	一定時間の延べ使用予定時間	3箇月当		時間			
		1箇月当		時間			
		1週間当		時間			

7 治療病室の放射線障害防止に関する構造設備の概要	1日最大使用予定時間					
	1日最大使用予定数量					
	建築物の構造		耐火構造 不燃材料 その他 ( )			
	放射線治療病室の防護物の概要	天井		構造	材料	厚さ
		周囲の壁	東			
			西			
			南			
			北			
		床				
		出入口のとびら				
	その他の開口部					
	治療病室画壁外側の実効線量		mSv / 週			
出入口の数		通常出入口	箇所	・ 非常出入口	箇所	
標識		有 ・ 無				
8 貯蔵施設の放射線障害防止に関する構造設備の概要	貯蔵の方法					
	貯蔵室又は貯蔵箱の場所					
	最大貯蔵予定数量		換算核種	Bq		
	貯蔵施設の構造		鉄筋コンクリート ・ 金庫 ・ 鉛鑄込鉄製容器 その他 ( )			
	貯蔵施設のしゃへい材料					
	貯蔵施設画壁外側の実効線量		mSv / 週			
	貯蔵室の出入口の構造	出入口の数		通常出入口	箇所	・ 非常出入口
甲種防火戸		有 ・ 無				
閉鎖設備		かぎ ・ その他				

8 貯蔵施設の放射線障害防止に関する構造設備の概要	貯蔵箱の閉鎖設備		かぎ	・	その他	
	貯蔵容器の構造	しゃへい材料				
		容器から1mの距離における貯蔵時の実効線量	μSv/h			
	標識		有	・	無	
	貯蔵物の種類及び数量の表示		有	・	無	
9 運搬容器の放射線障害防止に関する構造設備の概要	容器から1mの距離における実効線量率		μSv/h			
	容器の構造					
	標識		有	・	無	
	運搬物の種類及び数量の表示		有	・	無	
10 使用室の放射線障害防止に関する予防措置の概要	管理区域	管理区域を設ける場所				
		境界における実効線量	mSv / 3月			
		立入制限措置	さく	・	その他 ( )	
		標識	有	・	無	
	敷地の境界・その他	注意事項の表示		有	・	無
		敷地内居住区域及び境界の実効線量		μSv / 3月		
		入院患者(放射線治療患者を除く)の被ばく実効線量が1.3 mSv / 3月以下となる放射線防護措置				
取扱者の被ばく測定器		有	・	無		

(様式9-(11) )

診療用放射線照射装置等に関する変更届

年 月 日

長崎県知事

様

住 所  
管理者  
(刀ガナ)  
氏 名

下記のとおり、診療用放射線照射装置、使用室、従事職員等を変更するので、医療法第15条第3項、医療法施行規則第24条第1項第11号及び第29条第2項の規定により届ける。

記

1 病院または診療所の名称及び所在地		
2 変更しようとする理由		
3 変更年 月 日		年 月 日
4 変更しようとする事項	変更前	
	変更後	

\* 診療用放射線照射装置並びに同使用室の構造を変更する場合は、NO.2~4を添付すること。  
また、同装置を複数台変更する場合は装置ごとにNO.2~4を添付すること。

6 診療用放射線照射装置に関する事項	製作者名					
	型式					
	個数		個			
	装備されている放射性同位元素の種類					
	装備されている放射性同位元素の数量		mCi			
7 放射線障害防止に関する構造設備の概要	放射線源収納容器の空気カメラ(照射口閉鎖時線源から1mの距離における空気カメラ率)		mG / h			
	二次電子濾過板		有	・	無	
	照射口開閉用遠隔操作装置		有	・	無	
8 使用室の放射線障害防止に関する構造設備の概要	1週間の延べ使用予定時間		24時間未満	・	24時間以上	
	建築物の構造		耐火構造	・	不燃材料	
	使用室の防護物の概要	周囲の壁		構造	材料	厚さ
			天井			
			東			
			西			
			南			
		北				
		床				
		出入口のとびら				
		監視用装置	有	・	無	
		装置を操作する場所	有	・	無	
	使用室画壁外側の実効線量		mSv / 週			
	出入口の数		通常出入口		箇所	
放射線発生時の自動表示装置		有	・	無		
標識		有	・	無		

9 治療病室の放射線障害防止に関する構造設備の概要	治療病室の場所	階	病室		
	一定時間の延べ使用予定時間	3箇月当	時間		
		1箇月当	時間		
		1週間当	時間		
	1日最大使用予定時間				
	1日最大使用予定数量				
	建築物の構造	耐火構造	不燃材料	その他( )	
	放射線治療病室の防護物の概要	天井	構造	材料	厚さ
			東		
		周囲の壁	西		
			南		
			北		
		床			
		出入口のとびら			
		その他の開口部			
		治療病室画壁外側の実効線量	mSv / 週		
	出入口の数	通常出入口	箇所	・ 非常出入口	箇所
標識	有 ・ 無				
10 貯蔵施設の放射線障害防止に関する構造設備の概要	貯蔵の方法				
	貯蔵室又は貯蔵箱の場所				
	最大貯蔵予定数量	換算核種	Bq		
	貯蔵施設の構造	鉄筋コンクリート ・ 金庫 ・ 鉛鑄込鉄製容器 その他( )			
	貯蔵施設のしゃへい材料				
	貯蔵施設画壁外側の実効線量	mSv / 週			

11 貯蔵施設の放射線障害防止に関する構造設備の概要	貯蔵箱の閉鎖設備		かぎ ・ その他	
	貯蔵容器の構造	しゃへい材料		
		容器から1mの距離における貯蔵時の実効線量	$\mu\text{Sv/h}$	
	標識		有 ・ 無	
	貯蔵物の種類及び数量の表示		有 ・ 無	
12 運搬容器の放射線障害防止に関する構造設備の概要	容器から1mの距離における実効線量率		$\mu\text{Sv/h}$	
	容器の構造			
	標識		有 ・ 無	
	運搬物の種類及び数量の表示		有 ・ 無	
13 使用室の放射線障害防止に関する予防措置の概要	管理区域	管理区域を設ける場所		
		境界における実効線量	$\text{mSv/3月}$	
		立入制限措置	さく ・ その他 ( )	
		標識	有 ・ 無	
	敷地の境界・その他	注意事項の表示		有 ・ 無
		敷地内居住区域及び境界の実効線量		$\mu\text{Sv/3月}$
		入院患者(放射線治療患者を除く)の被ばく実効線量が $1.3\text{mSv/3月}$ 以下となる放射線防護措置		
		取扱者の被ばく測定器		有 ・ 無



(様式9-(12))

## 診療用放射線照射装置廃止届

年 月 日

長崎県知事

様

住 所  
管理者  
(フリガナ)  
氏 名

下記のとおり、診療用放射線照射装置を廃止したので、医療法第15条第3項、医療法施行規則第24条第1項第12号及び第29条第1項の規定により届ける。

記

1 病院または診療所の名称及び所在地		
2 廃止した診療用放射線照射装置	製作者名	
	型式	
	廃止時における放射線の数量	B q
	廃止した理由	
	廃止年月日	年 月 日
	廃止後の処分方法	
3 診療用放射線照射装置廃止後の使用室の用途		